

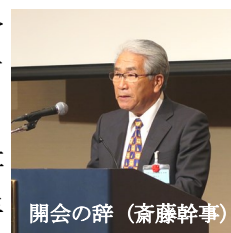
### Ⅲ 全体活動報告

#### 【第30回定時総会】

令和6年2月7日(水) 於:横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ

平成6年の創設から数えて30年目となる令和6年2月7日、年間行事の幕開けを告げる「第30回総会」が、横浜市西区の横浜ベイシェラトンホテルにおいて、会員・賛助会員・来賓・事務局総勢295名の出席のもと、開催されました。

冒頭の島田会長挨拶の後、さっそく議案審議に入り、1号議案「令和5年度事業報告」、2号議案「令和5年度収支決算報告」と同監査報告、3号議案「令和6年度事業計画案」、4号議案「令和6年度予算案」とも承認されました。続いて来賓紹介が行われ、来賓を代表して横須賀三浦塗装工業協同組合 理事長 林 高広氏にご挨拶を頂きました。林氏は「皆様ご存知の通り、長い歴史を持つ塗装業ですが、今日、業界は若手人材の不足や職人の高齢化、材料費の高騰など様々な課題に直面しています。私たちの業界団体は、これからもその発展に貢献し続けるべきであり、そのためには荻野化成友の会の皆様と、これらの課題に共に取り組み、塗装工事業・防水工事業のさらなる発展を目指して参りたいと思います。」と述べられました。続いて賛助会員を代表し、関西ペイント販売株式会社代表取締役社長 高多 洋一氏が挨拶に立たれ、30周年への祝意を下された後、「昨年のスポーツ界の躍進とは異なり、世界経済はロシア、中東など様々な問題からサプライチェーンの混乱を招き、国内経済もその影響を受け、さらに人手不足も加わって、我々の業界状況も苦しいものがあります。しかしそればかり嘆いていても仕方ありません。」と国内外の概況に触れつつ、「それでも塗装事業の必要性はいつの時代も変わりません。友の会会員の皆様の様な高い技術力を持つ方々が新たな市場を掘り起こし、技術の革新を進め、業界のトップリーダー集団として業界を牽引して行って頂きたい。私たち賛助会員も皆様の日ごろの問題解決はもちろん、新規需要の開拓、潜在需要の掘り起こし、新商品の開発など皆様の発展に貢献出来ますよう、努力して参ります。」と述べられました。続いての祝電披露のあと、事務局を代表して荻野化成株式会社 荻野 圭輔社長が、「我々に必要なのは様々な変化に対応することと考えております。先ごろ実施のアンケートには私たちの立場では気が付かない提案なども多く見られました。そこで各地区に新たに支部リーダーを設け、皆様のご要望を積極的に吸上げ、地区活動に反映させていく仕組みを作りました。どんな事でも結構ですのでご意見ご要望を頂ければ嬉しい限りです。」と締めくくりました。



## 【第30回総会記念講演会】

『町工場の娘』の経営改革と人財改革

講師：ダイヤ精機株式会社  
代表取締役 諏訪 貴子 氏



30周年記念講演会の講師は、NHKドラマ10で内山理名さん主演「マチ工場のオンナ」のモデルになった女性経営者、ダイヤ精機株式会社 代表取締役 諏訪 貴子 氏にお願いし、一介の町工場に過ぎなかったダイヤ精機株式会社が、就活生の間で一躍人気企業として名をはせるようになる過程で諏訪社長が行った改善・改革についてお話し頂きました。諏訪さんは著書や様々なメディアで中小企業の現状を発信している公官庁でも有名な方なのですが、びっくりするほど気さくな方で、受付に混じって来場者にご挨拶して下さいなど、親しみやすいお人柄でした。講演でも「会社を2回クビ」になった話や若い社員とベテランの葛藤といった深刻な事態を、とても明るく、しかもテンポ良く話して下さいました。講演を聴いた方々からは「今回は楽しかった。」「いつも寝ちゃうんだけど眠くならなかった。」「時間があつという間だったよ。」など大好評でした。諏訪社長、ありがとうございます。

## 【懇親会・抽選会】

講演会后、懇親会に移り、日本ペイント株式会社 取締役 副社長 今泉 昭彦 氏にご挨拶頂いたあと、友の会創設より会の発展に尽力頂いた安藤廣之初代会長の乾杯ご発声で懇親会が開宴しました。

30周年にふさわしい盛大な懇親会となる中、毎年恒例の抽選会もとり行われ、大いに盛り上がりを見せた後、梅澤相談役が中締め挨拶をし、懇親会の幕を閉じました。



乾杯 日本ペイント株式会社  
取締役副社長 今泉 昭彦 氏



乾杯 友の会 初代会長  
安藤 廣之 氏

